

# 矢野口地区

令和5年11月17日 (矢野口自治会館)

No.	質問内容	回答
1	矢野口地区の住所整理について、目的やスケジュール・進め方等を伺いたい。	住所整理事業は、お住まいの方の利便性の向上等を目的として、住所や所在地をわかりやすく整理するものである。 現在、南山東部土地区画整理事業の換地処分に併せた住所整理の実施に向けて、地域にお住まいの方で構成される「住所整理地区市民検討会（矢野口・東長沼・百村京王線以南地区）」を開催し、京王相模原線の南側の地域について、適切な住所整理の方針を検討している。 また、南山地区においてはアンケート調査の結果から新町の名称になる可能性もある。その他の地域の住所整理については、都市基盤整備等の状況を考慮し、順次検討していく。
2	以前、市民検討会での審議が安泰であれば、住所を振り直さないという話があったと思うが、住所の振り直しは必須なのか。	区画整理エリアに関しては、必ず番地を振り直さないといけない。個別の地域については、既に市民を含めた住所整理審議会で住所整理を全域行うという全体方針が定められているため、基本的には全ての地域について番地を整理していくことが決まっている。
3	住所整理について、自分が知らない間にほとんど決まってしまったという印象がある。	全員の意見を聞いて決議を取ることはない。市民の意見を集約しながら全体方針を決定し、議会にも報告し、了承を得ている。
4	矢野口自治会館前に造成予定の公園について、施設の内容や整備スケジュール等を伺いたい。	(仮称)矢野口公園は面積約3,500㎡の街区公園で、榎戸地区の玄関口となる公園である。整備スケジュールについては、多7・5・2号公園通り梨の道線に隣接していることから、梨の道線の整備に合わせ整備していく。 整備の内容については、前面道路である梨の道線が両側歩道の通常の道路形態となったことから、道路を挟んで自治会館があるという立地を生かせるよう、地域の方々のご意見を伺いながら、榎戸土地区画整理事業区域内都市計画施設等整備検討会、通称「梨の道検討会」の中で公園と道路が一体性を持つように検討していく。 現在榎戸の区画整理は、北西部（稲城第一小学校付近）において集団移転方式での最終局面を迎えている。これが完了すれば完成が見えてくるが、公園の整備はどうしても最後になってしまうため、もう暫くお待ちいただきたい。
5	(仮称)矢野口公園は防災公園のようなものを想定しているのか。	(仮称)矢野口公園をどのように設えて、利用していくかは検討会に委ねたい。私個人としては、子ども達の要望を叶えてあげたいと考えている。

No.	質問内容	回答
6	ジャイアンツタウン構想について、今後の整備スケジュールや市として対応を予定している事柄、iバスの運行等を伺いたい。	ジャイアンツタウン構想は、市の行政計画ではなく、読売グループの営業経営計画であり、2025年3月に新ジャイアンツ球場、2026年に水族館を合わせたグランドオープンが予定されている。今後、根方谷戸公園の階段を上った部分に新商業地区ができ、商業地区を超えるとジャイアンツ球場が目前に広がるというように整備されていく予定である。 市としては、ハード整備として、iバスの運行予定はないが、「稲城駅南口駅前広場」及び「京王よみうりランド駅南口駅前広場」において路線バスやシャトルバス乗車場等の増設に向け、既存レイアウトを見直すための整備を予定している。加えて、多3・4・12号読売ランド線の拡幅、多3・4・16号稲城南多摩線の築造を進めており、令和7年3月を目途に地区内の東京ジャイアンツタウン周辺の主要な道路の整備を完了する予定である。 ソフト事業としては、市内外を含めた東京ジャイアンツタウンのPRを進めており、スポーツ・観光事業等とも連携し、気運醸成に引き続き取り組んでいく。
7	ジャイアンツタウンは公民連携で行っていくと聞いたが、そこに税金は投入されるのか。道路の整備等に関する市民の要望は聞けるのか。	バスロータリーの整備は公共事業のため、市が費用を負担することになる。道路に関しては、これから様々なご要望をいただくと思うが、交通管制については警視庁の管轄になるため、ご要望をいただいた際には警視庁と協議をしていこうと思う。
8	バスロータリーの整備事業が始まると、ランド通りの拡幅が遅れてしまわないか。	バスロータリーの整備とランド通りの拡幅は別の事業なので影響はない。
9	人のにぎわいや集まりはやはり駅からということで、JR矢野口駅・京王よみうりランド駅にもっと栄えて欲しいと願っていますが、市として何か提案やアイデアがあれば、お聞かせいただきたい。	私も駅前がもっと栄えて欲しいと思っているが、基本的に駅前の商業施設については、商業者自身が商売をしていく意思があるかどうかということであって、行政としては如何ともしがたいものである。市としては、駅周辺に小規模な飲食店を開店した場合に开店経費の補助を行う制度を作ったが、今のところこの制度を使った人はいない。 令和5年8月には、読売ジャイアンツ球場での「稲城市フェスタ in ジャイアンツ球場2023」の開催に合わせ、よみうりランドや読売巨人軍、JR中央線コミュニティデザイン等の連携により弁天通り商店会回遊に繋げるイベントが実施された。今後も、積極的な公民連携による賑わい創出事業の開催を検討していく。
10	最近、尾根幹線が混み始めている。矢野口交差点を立体交差にするという話はどうなっているのか。	南武線の連続立体交差で高架化になる計画が無かった時に当該道路は尾根幹線の都市計画決定をされていたため、南武線の上を通すという立体交差化の話はあったが、南武線自体が高架化したためこの話は無くなった。 尾根幹線については、多摩川原橋から稲城方面へ向かう道路の交番付近の交差点は直進左折・直進・右折の3車線あるが、横断歩道を横断する人も多いため、左折車がいると直進左折車線が渋滞し、左折専用車線のようになっている。そこで、直進左折車線を左折専用車線にし、直進車線をもう1車線増やし、全部で4車線にして欲しいと東京都にお願いしている。この件については、今後も都議会議員さんにバックアップしてもらいながら調整したいと思っている。